

# 次世代技術活用人材育成事業

支援先

県内中小企業

## 【概要】

本事業は県内中小企業の研究開発人材の育成を目的とし、平成28年度から実施しております。

企業の課題として人材育成を挙げる企業は多く、特に、「開発設計のリーダーを育てたい」「次世代技術を事業に活かせる人材を育てたい」という要望に対応し、競争力のある研究開発型企業の育成を支援するため、以下の3つの研修を実施しました。

### ① 基礎コース

期間：令和4年6月29日、7月6日  
(2日間 全9講義)

修了者：14社22名

内容：研究開発に必要な基礎知識の修得



図1 基礎コースの様子

表1 基礎コースの内容

実施内容	
開発設計者の基礎知識	センターの業務紹介、ものづくり企業の現状、自社製品開発の事例(3社)、産学官金連携、市場とマーケティング、プロジェクトマネジメント、製品開発、知的財産

### ② 課題解決コース

期間：令和4年10月1日から  
令和5年1月31日まで

修了者：5社7名

内容：自社の技術課題を解決しながら技術や手法を修得

表2 課題解決コースの内容

コース	実施内容
CAE解析	シミュレーションによる構造解析技術
IoT活用	機器稼働状態の遠隔監視
分析評価	試料の脆性評価技術

### ③ 技術修得コース

期間：令和4年6月～令和5年2月  
(各設備 半日程度)

修了者：46社108名

内容：研究開発に必要な機器活用の修得



図2 技術修得コースの様子

表3 技術修得コースの内容

コース	対象機器
実習座学	IoT活用 (IoTツールの開発手法) CAE技術 (CAE活用方法とツール紹介) 分析評価 (異物分析手法と機器紹介)
機器操作	三次元測定機、スガ摩耗試験機、走査型電子顕微鏡、RFイミュニティ機器、EMI機器、射出成形機、分光測色計、X線回析装置、蛍光X線分析装置、産業用ロボット安全特別教育(教示・検査)等

## 【研修の成果】

これらのコースを受講した企業では、早速、研修受講生が学んだ技術を自社の取り組みに活かしています。例えば、日本鏡板工業株式会社では、生産現場の予防保全に向けたセンシング技術に活用し、大塚セラミックス株式会社では、工場内の省エネに向けたシステム開発に活用しています。

### 基礎となった事業

令和4年度 次世代技術活用人材育成事業

### 担当グループ

IT・マテリアルG

グループ長

若生 進一

TEL:0292-93-7482

主任

岡田 真

会計年度職員

沖島 由幸